議録センター

へ視察及び

つけ方や、

写真の配置に ・ジの見出・

8月12日に寄居町と会

見開きペ

しの

修に行きました。

ついてワ

ショップを

した。

へふかや市議会だよりは、

点字版とテ

CD版も発行.

います。

送付を希望される方は市社会福祉協議会

T

573

6563)

へご連絡ください。

課長は、 問題点、

自治体が抱える

「公共施設の再

次のように定めています。

進まなければなりません。

深和会行政視察

●北海道網走市

北海道知床財団

議会だより行政視察

25 月 議会運営委員会

議員クラブ行政視察 ~ 20日

~8 🖯

市民協働の美しい街並み、景観づくりについて 知床財団設立の経緯とボランティアの活用について 世界自然遺産活用について

あらねばならぬ」途へと

政を維持するため

「かく

通の意識をもって健全財 らに市民の皆さんが、

秦野市では基本方針を

活性化は期待できるか?

政は健全です。

現在全国

必要不可欠となっていま

的に注目されている担当

深谷市の52%と比べて財

算がされ、

今後の対策が

(公共施設白書) との試

執行部、

議会、職員、

さ

年平均36・

4 億 円

姿勢を学び、

深谷市も、

八で自主財源比率が62%、

秦野市は

人口16万9千

視察事項

公共施設マネジ 神奈川県秦野市

メントについて

掛かる費用が

450億

公共施設再編への力強

深谷市も今後40年間に

視察先

配置

の必要性を指摘し

4

つの部署で一元的

5 金 議案質疑

福祉文教委員会

環境都市委員会

市民産業委員会

決算特別委員会

総務委員会

16 火 決算特別委員会

一般質問

-般質問

-般質問

29 月 議会閉会

べて統廃合の対象

にマネジメントを行う

9月

10 水

12 金

17 水

22 月

24 水

25 木

こうした方針に基づく

3

優先度の低い

ハコモ

けたうえで大幅に圧縮

更新は優先順位を付

た。

主な調査事項を報告します

8月19日・20日「議員クラブ」で視察に行きました。

想

コモノ 新

() は建設しない

〈議会あれこれ「議員全員協議会ってなぁに?」・・

な考え方し 「新庁舎整備の基本的 について

低下を招いてもいる。 災拠点の機能が果たせな る大規模地震の際に、 化による市民サー る本庁舎では、 状況にある。 耐震性が不足状態にあ 狭あい化、 想定され 加えて、 ービスの 分散 防

理念なども示された。 谷市公共施設在り方検討 協議会、平成25年度に深 設の在り方に関する事前 針を決定した。 震化対策等の検討を行 舎を含む特定建築物の耐 市民会議を設置し、 成24年度に深谷市公共施 舎整備の必要性や基本 これらを踏まえ市の方 こうしたことから、 提言が出された。 本庁 亚

国民健康保険事業における国民健康保険税の適正化について

所得割額

(1) 保険税率等の改定は、以下のとおりとする。

(2) 実施時期は、平成 27 年4月1日とする。

答申事項

小学校校舎内

へ移転する

新たな園舎を

幼稚園

建設する

幼稚園

医療給付費分

介護納付金分

率等の改正について国民健康保険税の税

保険運営協議会へ検討を 国民健康保険税の適正化 を維持していくために、 である国民健康保険制度 今回答申が出た。 について深谷市国民健康 国民皆保険制度の基盤 した。それについて

行うのは1園とした。

平成28年1 保育開始

現在の深谷市における

耐震補強を

7 園で、 のは4園、 室を園舎として活用する に新たな園舎の建設を行 のは2園、

小学校の余裕教

報告3 基本方針 市立幼稚1 園耐 震対

財政状況

んと今後

報告4

対策を完了するため基本 針を定めた。 耐震対策の必要な園は 平成27年度までに耐震

の終了を迎える。 を迎え、近い将来、合併 に伴う財政上の優遇措置 間もなく合併から10年

いる。 齢化や土木インフラを含 たらす課題にも直面 財政面に大きな影響をも め公共施設の更新時期を 斉に迎える問題など、

財政状況と、 新市建設計画の 歳出見込みにつ 今後の財政 新市建設

新園舎建設工事

平成27年9月

保育開始

歳入•

見通し

加速する少子高

収支見込み(現状)

小学校敷地内

見通し(歳入・歳出の見 平成26年市議会第4回定 計画の変更につ 協議中であり、 として現在埼玉県と事前 変更に伴う財政計画(案) 込み)の報告である。 いては、

設計

財政計画(案) (県と事前協議中)

■平成28年度以降は、地方交付税の合併算定替えの増 額分の減少などによる歳入減を見据え、増加傾向にあ る歳出の抑制に積極的に取り組む。

今後の行財政運営について

■歳入・歳出の均衡を保ちつつ、後年度における健全な 行財政運営を継続するため、中長期的な視野に立ち、 歳入の確保、歳出の縮減を図る。

- ■歳入の確保
- ◆地域経済の活性化
- ◆収納対策の強化など
- ◆事業の選択、見直し
- ◆受益と負担の適正化

(3) 定期的(3年以内) に保険税率等の見直しを行う。 今後のスケジュール(予定) 事業年度 1月

教室改修工事等

均等割額 9,000円

均等割額 7,800円

5.4%

深谷みらい会、深谷同志会行政視察

北海道池田町

北海道音更町

子ども夢事業について

産業振興支援補助事業について

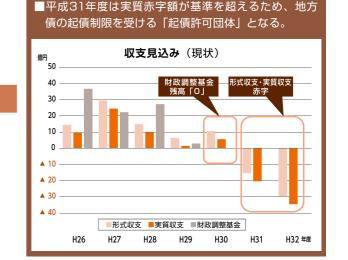
「寛而約」の書の閲覧について

~31 ⊟



1月 議会開会、議案説明

- ◆市有財産の有効活用
- 歳出の縮減
- ◆公共施設の適正配置
- ◆民間委託など業務の外部化の推進など



■収支見込みでは、平成30年度に財政調整基金が枯渇し

31年度で形式収支及び実質収支が赤字に転落する。

・議決案件ではないが、 行政運営上重要な件に対して議長が招集し市側が報告する会議のことです。〉